

断たれた絆

作・海苔輔^{のりすけ}

シナリオ・データ

推奨プレイヤー人数：4人
PCレベル：5
リミット：1サイクル

セッション予告

一言でいえば、幼馴染。友達。仲間。
いつまでも変わることのない関係。
そう、思っていた。
あの日、彼がいなくなるまでは。

サムライブレイドTRPG
「絶たれた絆」
サムライの魂、ここに剣斬！

PCの設定

・サンプルキャラクター

PCにはハンドアウトと設定がつく。セッション開始前にハンドアウトを公開し、どのようなPCにするかをプレイヤーと相談する。

- PC1：武笠誠也から幼い頃から面倒を見られている。
「摩天楼の若武者」
PC2：武笠桜と幼い頃から仲がよい。
「薙ぎの守護者」
PC3：長いことSAMURAIに所属している。
「陰陽の行使者」
PC4：華札の巫女の卵。
桜の面倒を見ている。
「華札の巫女」

PC1・2は高校生を想定。
PC4は女性を推奨。

各サンプルキャラクターのデータはルールブックまたは公式サイトを参照。

シナリオの注意点

本シナリオではプロローグフェイズにおいて特殊な処理を行う。予めコピーするなどしてPLに周知するようにすること。

◎PCはメインフェイズ同様にシーン表を振る。
(GMは演出が難しいと思ったらこの処理は省略)

◎指定された「初期断片」を対象にした「開示判定」を行うことができる。判定にスペシャルで成功した場合、以下のいずれかの効果を得る。

- 好きなアイテムを1つ入手
- 任意のPC1人と任意の枚数だけ華札を交換

◎シーン終了後、メインフェイズと同様に華札の取得を行う。

これらの処理はコンベンション等の「時間に制限がある状況でのセッション」において、2サイクルのシナリオだと時間が不足することがあったため、その代替として行うものである。

サンプルキャラクターを使用したオフラインでのセッションの場合、4～5時間程度で終了することを想定している。

なお、本シナリオはいわゆる「チュートリアル戦闘」が発生しない。PLがサムライブレイドに慣れていない場合、シナリオ開始前の段階で簡単に戦闘のチュートリアルをしておく事をオススメする。

背景

(※PLは読まないように)

武笠桜は幼い頃に負った怪我の影響で脚を悪くしている。その時の怪我は武霊刀によるものだったために桜自身に大量の霊力が満ちることになり、行動に制限がある中で華札の巫女として活動している。

しかしその霊力の活性化に肉体がついていけず、脚を切除しなければいけないと医者に診断されてしまった。その手術は大変難しいもので、命の危険すらあるものだった。

桜の兄である武笠誠也は、かつて魂魄士としてPC3と共に活動していた。しかし以前の事件において魂魄を散華してしまい、やむなく魂魄士を引退して街の剣術道場主として暮らしている。そんな折、桜の脚の状態を知り様々な病院を当てるも診断結果は変わらず。気落ちしているところに逢魔の誘惑を受けてしまう。

藁にもすがる思いで自ら鬼成と化し、桜を逢魔化させることで助けようとする誠也。しかしこれこそが逢魔の思う壺。華札の巫女を逢魔化させることができれば逢魔の侵攻はますますはかどるだろう。

PCが真相を知り、誠也の暴走を止めることができればシナリオは終了だ。そして、桜の命を救い、脚の治療が成し遂げられればトゥルーエンドと言えるだろう。

プロローグフェイズ

前述の通り、プロローグフェイズでは指定された断片に対して開示判定を行うことができる。この時点でPC間はまだ知り合っていない可能性も高いので、プロローグフェイズ終了後にPC間の縁の取得を行ってもいいだろう。

華札の配布（PC4人なので5枚ずつ）と初期アイテムの決定を行ったらプロローグフェイズを開始する。

シーン 1

シンプレイヤー：PC4

解説

PC4と武笠桜が共に華札の巫女としての修行を行っていて、その合間に逢魔の襲撃を受ける。逢魔たちは桜を狙って動く。

▼描写 1

華札の巫女もまた魂魄士である。あなたは武笠桜とともに術式の修行に明け暮れていた。桜はあなたの後輩ではあるがその術の扱いは素晴らしく、既にあなたの実力を上回っていた。しかし、桜は時折脚を引きずる仕草を見せる。彼女は足が悪く、そのために前線で戦うことには不向きなのだ。

▼セリフ：武笠桜

「PC4さん、少し休憩しましょう」

「(休憩しながら) わたし、脚がこんなだから…せめて呪術とかそっち方面で頑張りたいなって」

「(遠くを見ながら) あ、あれなんですか？ ひょっとして逢魔？」

▼描写 2

修行場の近くは本来なら逢魔が近寄るはずもない、強い結界の張られた場所だ。そんな場所にまで逢魔が出てくるなんて…しかも、桜は戦力として当てにするわけにも行かない。ここはあなたが逢魔を打ち払わなければ。

(初期断片「急に現れた逢魔との戦い」の判定を行う)

▼セリフ：武笠桜

「こんなところにまで、逢魔が

…？」

「私、他の華札の巫女の人たちにこの事を知らせてきます。PC4さんはSAMURA I本部の方へ報告してもらっていいですか？」

結末

PC4がSAMURA I本部へ向かったら、シーンを終了する。

シーン 2

シンプレイヤー：PC2

解説

PC2と武笠桜が共に下校する。その際、桜の脚の状態が思わしくないことを演出する。

▼描写 1

あなたは武笠桜と共に学校から下校している。二人ともSAMURA Iに所属しているため一緒に帰るのは久しぶりだ。今日は、あなたが桜の荷物を持っている。桜は足の具合が悪いらしく、松葉杖をついて歩いているのだ。

▼セリフ：武笠桜

「ごめんね、PC2…荷物持たせちゃって」

「わたし、脚がこんなだからみんなに迷惑かけちゃっているよね…」

(初期断片「武笠桜について」の判定を行う)

▼描写 2

あなたは、桜の兄である武笠誠也から話を聞いていた。桜の脚の状態は思わしくない。近々手術を受けないといけならしい。その事をPC2に知られまいと思っただけ、桜は気丈に振る舞っているようだ。

桜の家の近くまで来たところで、SAMURA I本部から招集がかかる。

▼セリフ：武笠桜

「脚が良くなったら、今度はわたしがPC2の荷物持ってあげるね」

「(本部に呼び出された) あ、ここまででいいよ。荷物持ってくれてありがとうね。いってらっしゃい」

結末

PC2がSAMURA I本部へ向かったら、シーンを終了する。

シーン 3

シンプレイヤー：PC1

解説

PC1の過去と現在において誠也とどのように接してきたかを描写する。過去では憧れの存在として、現在では行方知らずの状況が分かる。

▼描写 1 (回想)

あなたは幼い頃から武霊刀の力に目覚めていたが、刀の使い方も分からない状態だった。そんなあなたを鍛えてくれていたのが、魂魄士の先輩であり、あなたの幼馴染でもある武笠誠也だ。誠也が師範代を務める剣術道場であなたは竹刀を手に取り何度も打ちかかるが、誠也に簡単にいなされてしまう。

▼セリフ：武笠誠也

「どうした、それで終わりか？」
「そんなんじゃ強くなてなれねえぞ!」

「(一息ついて) なかなかいい打ち筋になってきたな、だがまだまだだ」

「いいかPC1、お前はまだまだ強くなれる。いつか俺よりも強くなるかもしれないな」

▼描写 2 (現在)

今のあなたはSAMURA Iに所属しながら高校へ通っている。幼馴染でもある武笠桜やPC2と共に学生生活を楽しみながらも、日々逢魔との戦いを続けていた。忙しいながらも楽しい日々。ずっと続くかと思われた日常は、ある日唐突に絶たれるのであった。

(初期断片「武笠誠也について」の判定を行う)

ある日、学校から帰ったあなたの家の前で待っていたのは武笠桜だった。桜によると、誠也の行方が分からないとの事だ。桜に行き先を告げずに姿を消すなど、誠也にあるまじき事態だ。何かあった

のだろうか。

桜にリアクションを返すと、S AMURA I本部から招集がかかる。誠也のことは気になるが、今はS AMURA I本部へ向かうのが先決だろう。

▼セリフ：武笠桜

「あ…PC1、あのさ、兄さん見なかった？」

「(見ていないと聞いて) そっかあ…兄さん、急にいなくなっちゃって。今までこんなことなかったから、どうしたのかなって」

「事件に巻き込まれたのかな？心配だなあ…」

「(本部から呼び出された) あ、うん、兄さんは私の方でもうちょっと探してみる」

結末

PC1がS AMURA I本部へ向かったら、シーンを終了する。

シーン 4

シンプレイヤー：PC3

解説

襲いかかってくる逢魔を撃退しつつS AMURA I本部へと向かう。過去を知る坂本副司令から「あなたでなければ解決できない」と激を入れられる。ここで登場する逢魔は武笠桜を探して動いている。

▼描写 1

あなたは単独での逢魔撃退任務をこなし、しばしの休息をとっていた。チームで動かずに一人で動くようになってから何年経ったのだろうか。そんな物思いにふけていると、S AMURA I本部から招集がかかる。何でもOEDO周辺で大量の逢魔が検知されたそうだ。市民への被害はまだ出ていないが、至急本部へ合流してほしいとの事だ。

▼セリフ：東雲しぐれ

「PC3さん、至急本部へ来てください」

「あっ、今いる座標とOEDOとの中間点に逢魔の群れが…このま

まだと戦闘になります、気をつけてください！」

(初期断片「行く手を阻む逢魔との戦い」の判定を行う)

▼描写 2

逢魔たちは何かを探しているような素振りを見せ、本格的な戦闘になる前にその大半が逃げていった。一体何だったのだろうか…？ともあれ、S AMURA I本部へ到着したあなたは副司令である坂本江里香の元へとやってきた。

▼セリフ：坂本江里香

「PC3さん、お待ちしていました」

「既に逢魔と接触されたようですが…その様子では大丈夫だったようですね」

「さて、PC3さんと呼んだ目的ですが…逢魔が組織的に動いて、何かを探し出しているようなのです」

「そして…あの方が関わっているという情報も入ってきています」

「未確認情報ですので、詳しいことはこちらでも調査を進めますが、PC3さんの方でも進めてください」

「また、今回は魂魄士一人で挑むには敵の数が多すぎます。最近伸び盛りの魂魄士を今呼んでいますので、一緒に行動してください。此度の件、まるきり無関係という訳ではないメンバーです」

結末

PC3が他のメンバーを待つ事になったら、シーンを終了する。

シーン 5

マスターシーン

解説

全員集合して、副司令・坂本江里香から状況の説明を受ける。PCとしての自己紹介を(カクカクシカジカで構わないので)やっておくといいだろう。

ここで(結んでいなければ)PC間の縁を結ぶ。また、順調に進んでいればこの時点でPC1・3のソウルハンドアウトの開示条件は満たされている。開示は強制で

はないが、公開できることを促すといよ。

▼描写

S AMURA I本部の会議室に集められたPCたち。全員が集まっていることを確認すると、S AMURA I本部副司令官である坂本江里香からの説明が始まった。

▼セリフ：坂本江里香

「皆さん、よく集まってくれました」

「OEDOを取り囲むように逢魔が出現しました」

「それだけであれば珍しいことでもないのですが…今回はどうやら逢魔が組織的に動いているようなのです」

「指揮をしているのが誰なのか。そして、その目的が何なのか。この点を調べていただきたいです」

「今回は逢魔との戦いに慣れているPC3さんと呼ばせていただきました。他の方はまだ実戦経験が浅いですから、PC3さんの助言をよく聞くようにしてください」

「以上です。何か質問は？」

結末

お互いの紹介が終わり、事件の解決に挑む決意をしたところでシーンを終了する。

メインフェイス

メインフェイスでは「逢魔についての調査」を行っていくことになる。

メインフェイス開始の段階で追加断片「誠也の日記」「逢魔の団」が公開されている状態を想定している。

GMは【挿話】の開示や入手判定・感情判定などは追加サイクルを利用するように促すこと。

リミット

メインフェイスのリミットは1サイクルである。リミット以内に【剣戟】を開示できなかった場合、武笠誠也は完全に逢魔となってしまう。【剣戟】が開示されていれば誠也の逢魔アビリティに「人の心」が追加されるため、クライマック

スフェイズで誠也を倒すことができれば助けることが可能である。

注意してほしいのは「挿話 誠也の救出方法」が開示されていなくても誠也が助かる点である。この断片はサムライブレイドの経験が少ないPL向けの情報であり、開示は必須ではない。そのため、PCの手数がかなり厳しいとGMが判断するようであれば、この挿話の情報内容は剣戟が開示された時点で同時に公開してもいいだろう。

イベント

「追加断片：若魔将みことについて」を開示した時点で「シーン6」が挿入される。

シーン 6

マスターシーン

解説

PCの登場は任意だが、追加断片を開示したPCが登場するとそれらしい状況になる。

このシーンでやることは「若魔将みこと」がPCの前に一見敵意が無さそうな雰囲気で開催すること、最終的に武笠桜を誘拐することである。

この行動は下位逢魔アビリティ【逢魔の業】によるもので、止めることは不可能である。

描写文は一応記すが、GMの扱いやすいようにみことを操り、PCたちを手玉に取りつつ攫うといだろう。

なお、攫うのはみことではなく、逢魔化している誠也である。

▼描写 1

若魔将みことについて調べているが、どうしても情報が乏しい。交戦記録といったものはほとんど無く、なぜか「駅前のカフェでチョコパフェを食べていた」「若手男性アイドルのライブの最前列で見かけた」など、おおそ逢魔とは思えない報告ばかりが見つかる。頭を抱えるあなたに、急に声がかけられた。

▼セリフ：若魔将みこと

「ねえ、あなた。何しているの？」
「(資料に目やって) なになに？ アタシってば有名人？ あ、でも写真写りちょっと悪いなあ…」

「何か調べているみたいだけど、無駄だからあきらめた方がいいよ〜。もうすぐアタシの手下が邪魔な首都結界壊しちゃうんだから」
「(理由を聞かれる) え、そんなの決まってるじゃない。楽しそうだからよ？」

「あなたこそこんなところでのんびりしていいの？ もう手遅れかもしれないけどね〜」

▼描写 2 (桜と一緒に行動していた場合)

突如近くの窓が割れたかと思うと、立派な体躯の人影が目の前に現れて当て身を食らわしてきた。とっさの事に対応できなかったあなたは気を失ってしまう。

目を覚ますと、一緒にいたはずの桜の姿は無かった。

▼セリフ：武笠桜

「…に、兄さん…？ (当て身をくらい) うぐっ…」

▼描写 3 (桜と別行動だった場合)

場面が変わり武笠家。料理をしている桜の後ろでキッチンのドアが音も無く開く。人の気配に気づいて振り返る桜の目の前にいたのは、目が赤く光りうつろな表情をした武笠誠也だった。

▼セリフ：武笠桜

「…に、兄さん…？ (当て身をくらい) うぐっ…」

結末

どちらの状況だとしても、みことは「無駄だと思うけど、せいぜいあがいて頂戴ね」などと無責任な事を言って退場する。この時点でシーンが終了する。

カルマフェイス

カルマフェイスでは【斬札展開】を行ったPCがシナリオプレイヤーとなり【士命】を追加できる。GMは全PCが【斬札展開】できるように案内すること。

「カルマフェイスシーン表」を用いてシーンの雰囲気を創出して「PCが何のために戦うのか」を確認する。

クライマックスフェイス シーン 7

バトルシーン

解説

武笠桜の逢魔化儀式が始まる直前にPCたちは到着、登場する。なお、このシーンに若魔将みことは登場しない。どこかで日和見しているのではないだろうか。

「今孔明」は本来羅刹丸の配下であるが、ビジュアルイメージが近かったため今回はみことの配下として使用している。誠也は「桜」という名前にだけ反応する。それ以外には無表情・無反応を貫く。誠也が無口なぶん、今孔明にたくさん喋らせるといいだろう。

▼描写 1

誠也が師範を務める剣術道場。普段なら門弟で賑わい、稽古の音が外まで鳴り響く場だが、今はひっそりとしている。道場の扉を開け放つと、道場いっぱい描かれた魔法陣とその中心に横たえられた桜。そして、近くで呪を唱える老人のような小人が目に入った。

老人は呪を唱えるのをやめてあなたたちに振り返った。

▼セリフ：今孔明

「なんじゃ貴様らは！ みこと様の邪魔をするつもりか」

「今から世にも珍しい、華札の巫女の逢魔化儀式を行うのじゃ。そこで黙って見ておれ！」

「かっかっか、実力もないのに逆らって、無駄に命を散らそうというのか。良いじゃろう、ではコヤツに相手をさせようではないか！」

▼描写 2

今孔明が促すと、それまで道場の隅で座っていた人影がのっそりと立ち上がり、あなたたちの前に立ちふさがるような位置まで来た。目は赤く光り、しかし意志の光はない。右手に禍々しい刀を持ったその人影は、武笠誠也。かつて魂

魄士だった者があなたたちを倒す敵とみなして立ちふさがった。

▼セリフ：今孔明

「ひゃーっひゃっひゃっひゃ、無駄じゃよ、無駄無駄。そのモノは既に逢魔と化しておる。お主らが誰なのかも既にわかっておらぬのじゃ」

「(誠也の反応を見て)…何い！？術式にほつれが？ ええい、またかけ直せば良いだけの事よ」

▼セリフ：武笠誠也

「…」
「…さ…くら…？」

戦闘について

(データはルールブック参照)

上級逢魔

剣鬼(武笠誠也) 今孔明

中級逢魔

亡霊武者 狂骨

下級逢魔

五牙(+サイクルスタート時に2体召喚)

剣鬼のもつ逢魔アビリティはルールブックP197掲載のものと同一であるが【交差の一閃】の代わりに【歪なる世界】を持たせるといだろう。その他データに関してはルールブックを参照していただきたい。

剣鬼は手番が来たら【殺戮の嵐】を使用して、2人以上に攻撃が命中したら【破滅の魔剣】を使用する。そして即座に【刹那の瞬撃】を

宣言し、まだ覚醒していないPCを優先的に狙う。2回行動しても倒れない場合は【命の蹂躞】などで生命力を削ろう。

上級逢魔は【真魔覚醒】をするということをそれとなくPLに促し、覚醒前にPCが最大火力のリソースを切らないように誘導すること。【真魔覚醒】後は【破滅の魔剣】だけ再使用することをPLに宣言する。

戦況次第ではあるが、2サイクル目以降の下級逢魔召喚は無くてもいいだろう。

「五光」を使用した攻撃ではすべての出目を6にすると「プレイヤーズコール(ルールブックP154)」が発生する。このシナリオにおいて、桜の脚が治るためにはプレイヤーズコール以外の手段は存在していないため、五光を使用する際にはGMは注意して見守ること。

勝利条件

バトルシーンの勝利条件は「武笠誠也と今孔明を倒す」である。なお、このバトルシーンにはリミットは存在しない。

結末

勝利条件が満たされた段階で戦闘終了となり、バトルシーンは終了する。残った逢魔は撤退する。

【剣戟】が開示された状態であれば、誠也は生命力が0以下になると【行動不能】となり、鬼成から人間に戻る。【剣戟】が開示されていなかった場合は、誠也は完全な逢魔になる。そのため、生命力が0以下になると【死亡】する。

エピソードフェイズ

エピソードについてはセッション毎に変わるものと想定しているので、描写やセリフは記さない。

代わりに、想定される状況(著者の実体験含む)などを記すので参考にしていただきたい。

なお、クライマックスフェイズにおいて「五光」を使用した攻撃判定でプレイヤーズコールが発生していれば武笠桜は手術無しで脚が治ることにして良い。

無論、PCたちが小さな奇跡の使い道を他に提示するのであれば、それを優先して欲しい。

PC4

◎OP同様に桜と修行をする

◎みことに絡まれてパフェを奢られる

PC3

◎坂本江里香へ報告をする

◎新たな仕事が舞い込んでくる

PC2

◎武笠桜のリハビリに付き合う

◎脚の直った桜と共に学校へ通学

PC1

◎武笠誠也と共に病院で包帯ぐるぐる巻き

◎怪我の治った武笠誠也と剣術で勝負

◎桜の〈巫女の守護者〉になる

功績点について

本シナリオにおいて「武笠桜の脚が治った」場合、ボーナスとして功績点が2点加算される。

敵の配置

	6	5	4	3	2	1	X
六							
五		五牙		狂骨			
四				誠也	孔明		
三		誠也					
二							
一					亡霊		
零							

※亡霊…亡霊武者

ハンドアウト

サムライブレイドTRPG

士命

ハンドアウトPC1

武笠誠也を探し出す

推奨魂魄・職業
応龍・学生
推奨サンプルキャラクター
摩天楼の若武者

あなたは幼い頃からお隣に住む武笠誠也から面倒を見られていた。あなたにとっては兄同然の存在だった。ある日、あなたの眼の前から突如として誠也は姿を消した。一体、彼の身に何があったのだろうか。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

縁	:	武笠誠也
感情	:	友情
特記事項	:	ソウルハンドアウト有

PC1のソウルハンドアウト

挿話 開示

この「挿話」は特定の条件を満たした後、いつでも開示することができる。
キミは幼い頃に魂魄士として覚醒した際、誤って武笠桜を傷つけてしまった。
※キミ自身はこの事をよく覚えていない。幼すぎて記憶が曖昧であるが身体を悪くしているのはこのときの怪我が原因であるが、同時に桜が巫女の素質を自覚させた切欠でもあるキミは桜を守つてやらなければならないという、ほんやりとした使命感に駆られていた。
このソウルハンドアウトが公開されたとき、PC1の「士命」は「桜のことを守る」へと変更してもよい。
また「武笠桜」に感情を結ぶ。この「縁」は戦闘中も使用することができる。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

ハンドアウト

サムライブレイドTRPG

士命

ハンドアウトPC2

武笠桜を気にかける

推奨魂魄・職業
応龍か霊亀・学生
推奨サンプルキャラクター
薙ぎの守護者

あなたは幼い頃から近所に住む武笠桜と仲が良かった。今では学校の通いながらSAMURAIに勤めている。何か心配事でもあるのだろうか。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

縁	:	武笠桜
感情	:	友情
特記事項	:	特になし

PC3のソウルハンドアウト

挿話 開示

この「挿話」は特定の条件を満たした後、いつでも開示することができる。
あなたはかつて武笠誠也と共に任務にあたっていた。しかし、ある魂魄士としての引退を余儀なくされた。あなたは誠也の分まで任務の度の任務は「逢魔」の一団の中に誠也の姿を見たとの情報。真相を確かめることだった。情報が真実だとすれば、誠也の身に一体何が起ったのだろうか。
このソウルハンドアウトが公開されたとき、PC3の「士命」は「誠也の行方を追う」へと変更してもよい。
また「武笠誠也」と感情を結ぶ。この「縁」は戦闘中も使用することができる。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

ハンドアウト

サムライブレイドTRPG

士命

ハンドアウトPC3

逢魔事件を解決する

推奨魂魄・職業
鳳凰・任意
推奨サンプルキャラクター
陰陽の行使者

あなたは長らくSAMURAI本部に所属している魂魄士だ。常日頃から逢魔と戦う日々で、本部の副司令である坂本江里香からの信頼を得ることが出来ている。ある日、あなたの元に坂本副司令から指令が下った。あなたにとって無関係とは言い難い事件。これを断ることなど、あなたには出来なかった。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

縁	:	坂本江里香
感情	:	忠誠
特記事項	:	ソウルハンドアウト有

ハンドアウト

サムライブレイドTRPG

士命

ハンドアウトPC1

首都結界を守る

推奨魂魄・職業
麒麟・巫女
推奨サンプルキャラクター
華札の巫女

あなたは華札の巫女になるべく修行を続けている魂魄士だ。後輩に当たる武笠桜はあなた以上の素養を持ち成長著しく、あなたはとても可愛がっている。ある日、桜とともに修行に動していると唐突に逢魔に襲われた。華札の巫女を狙うことで首都結界を破壊しようとする目論みなのだろうか？ あなたは胸騒ぎを覚えつつSAMURAI本部へと向かった。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

縁	:	武笠桜 ^{もかき、さくら}
感情	:	信頼
特記事項	:	女性推奨

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

初期断片

武笠誠也について

武笠誠也（むかき・せいや） 25歳

PC1・PC2と幼馴染であり、PC1の剣術の師でもある。武笠桜の兄であり、何かと面倒を見ることが多い。

指定特技 <		刀剣		/		身体6 >	
難易度	下級 ☒	中級 ☐	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐		
推奨	PC1 ☒	PC2 ☐	PC3 ☐	PC4 ☐	なし ☐		

武笠誠也について

初期断片 開示

追加断片
「逢魔の一日」

武笠誠也はかつて魂魄士としてSAMURAIに所属していたことがある。今では魂魄士としては引退していて、町道場で道場主として過ごしていた。しかし、ある日を境に誠也の消息はブツリと途切れてしまった。消息を絶つ前に、久しぶりにSAMURAI本部に現れた。何を調べていたのかは定かではない。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

初期断片

武笠桜について

武笠桜（むかき・さくら） PC1と同年

PC1・PC2と幼馴染であり、華札の巫女である。武笠誠也の妹である。脚が悪く、時折引きずるような仕草を見ることがある。

指定特技 < 人徳 / 才能4 >					
難易度	下級 ☒	中級 ☐	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐
推奨	PC1 ☐	PC2 ☒	PC3 ☐	PC4 ☐	なし ☐

武笠桜について

初期断片 開示

追加断片
「誠也の日記」

武笠桜は最近病院で足の具合を検査した所、足から悪性の腫瘍が見つかった。このまま放置すれば本人の命が危うく、治療のためには足を切除しなければいけないと診断されたらしい。様々な病院を巡ってみたものの診断結果は変わることがなかった。現代の医療ではこれ以外の治療法が無いと聞いた兄の誠也はかなり悩んでいたようだ。桜自身は周りに心配させまいと気丈に振る舞っており、ごく一部の知り合いにしかこの事は知らせていない。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

初期断片

行く手を阻む逢魔との戦い

あなたの目の前に逢魔が立ちふさがる。これを倒さなければ、SAMURAI本部へ向かうことは出来ないだろう。

※この断片は開示判定に失敗した場合生命力を3点失う。

指定特技	< 武霊刀の指定特技 >				
難易度	下級 ☐	中級 ☒	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐
推奨	PC1 ☐	PC2 ☐	PC3 ☒	PC4 ☐	なし ☐

初期断片 開示

追加断片
なし

少し戦うと、逢魔たちはすぐに散り散りになっていった。目的を果たしたのか、あるいは目的のために離れて行ったのか、それは定かではない。今後は早くSAMURAI本部へと向かうことにしよう。逢魔が落としたと思われる物を拾い上げ、あなたは足を早めた。アイテム【霊測】を獲得する。(既に合計二つ以上の【霊測】をPCたちが所持している場合は【護符】を獲得する)

※以後、PC1・PC3はソウルハンドアウトを任意のタイミングで開示・公開できる。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

初期断片

急に現れた逢魔との戦い

あなたの目の前に逢魔が立ちふさがる。こんなところに逢魔が...? 立ち向かえるのはあなたしかない。なんとかしなければ!

※この断片は開示判定に失敗した場合生命力を3点失う。

指定特技	< 武霊刀の指定特技 >				
難易度	下級 ☐	中級 ☒	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐
推奨	PC1 ☐	PC2 ☐	PC3 ☐	PC4 ☒	なし ☐

初期断片 開示

追加断片
なし

しばらく戦うと、逢魔たちを打ち倒すことに成功した。それほど強い個体がいなかったことが幸いした。もっと強い逢魔が出現していれば、あなたは一人で難しかっただろう。逢魔が落としたのか、足元に何か転がっている。有効に使うアイテム【霊測】を獲得する。(既に合計二つ以上の【霊測】をPCたちが所持している場合は【護符】を獲得する)

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

追加断片

逢魔の一団

首都結界を破ろうとする逢魔たち。どうやら組織的に動いているようだ。指揮しているのは一体何者なのだろうか。指揮しているの

指定特技	< 混沌 / 深淵2 >				
難易度	下級 ☐	中級 ☒	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐
推奨	PC1 ☒	PC2 ☒	PC3 ☐	PC4 ☒	なし ☐

追加断片 開示

追加断片
若魔将みこと

逢魔が首都結界を破ろうとして襲撃をかけてくるのはよくあることである。今回はその逢魔を率いる2つの影が確認されている。SAMURAI本部の調査によると、そのうち一つは「若魔将みこと」。そして、もう一つは、かつてSAMURAIに所属していた「武笠誠也」である。その手には禍々しい刀が握られていたという報告が届いている。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

追加断片

誠也の日記

失踪した誠也の部屋から出てきた、数少ない遺留品である。

指定特技	<	悲	/	理知12>
難易度	下級 ☐	中級 ☐	上級 ☒	特殊 ☐
推奨	PC1 ☒	PC2 ☐	PC3 ☒	なし ☐

誠也の日記

追加断片 開示

追加断片
「なし」

誠也の部屋に残されていた日記。誠也の苦悩が綴られている。桜を治療するための方法を探す様子、様々な病院へ相談に行った様子などが記されているが、いずれも実ることとはなかった。しかしSAMURAI本部で達魔についての本を読んだ頃から急に文体が変わり、悩みが吹っ切れたような事が書かれていた。そして、最後のページにはこんなことが記されていた。

「桜を助けるためなら
悪魔にでも達魔にでも魂を売ってやる」

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

追加断片

若魔将みことについて

若魔将みことは公式NPCである。
(183ページ参照)
チョコパフェとアイドルが好きな、一見普通の少女だが…。

指定特技	<	妖	/	理知3>
難易度	下級 ☐	中級 ☐	上級 ☒	特殊 ☐
推奨	PC1 ☐	PC2 ☒	PC3 ☐	なし ☒

若魔将みことについて

追加断片 開示

追加断片
「誠也の思惑」

達魔の中でも高位の実力を持つ「八柱将（はつちゆうしやう）」の一人。彼女自身は前線に出て戦うタイプではなく、主に陰謀を張り巡らせたりのことが多い。今回は武笠誠也をそのかして首都境界の破壊をもくろんでいる。

（ここまで読んだところでシーン6が挿入される。以降はシーン終了後に読むこと）

その目論見は順調に進んでおり、その総仕上げとして「華札ターゲット」になっているのは、武笠桜である。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片

ダンペン

サムライブレイドTRPG

剣戟

誠也の思惑

誠也は一体何を考えているのだろうか？

指定特技	<	呪文	/	理知11>
難易度	下級 ☐	中級 ☐	上級 ☐	特殊 ☒
推奨	PC1 ☒	PC2 ☒	PC3 ☒	なし ☐

誠也の思惑

剣戟 開示

誠也は桜のことを「達魔化」することで助けようとしている。そのために自らの身を達魔とする必要があるとみことから諭されている。誠也は自らの剣術道場へと戻り、桜へ達魔化の儀式を行うおうとしている。急がなければ手遅れになるだろう。

以後、任意のタイミングでメインフェイズを終了してクライマックスフェイズへと移行することができる。また、この断片を開示すると誠也の持つ達魔アビリティが一つ変化する（何に変化するのかは別の情報である）

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片
ダンペン

サムライブレイドTRPG

挿話

誠也の救出方法

この断片は「剣戟 誠也の思惑」開示後に公開される。

指定特技	<	愛	/	才能12	>
難易度	下級 ☒	中級 ☐	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐
推奨	PC1 ☐	PC2 ☐	PC3 ☐	PC4 ☐	なし ☒

挿話 開示

誠也の救出方法

一度逢魔となってしまう者を助けることは出来ない。ただし「鬼成(おになり)」という、逢魔の影響を強く受けた存在であれば、まだ助けることが可能かもしれない。この断片を開示すると、即座に武笠誠也と感情を結ぶ。この「縁」に限り戦闘中にも使用することができる。また、誠也の持つ逢魔アビリティは【冥土の土産】が【人の心】へと変化したことが判明する。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片
ダンペン

サムライブレイドTRPG

挿話

桜の救出方法

この断片は「剣戟 誠也の思惑」開示後に公開される。

指定特技	<	医療	/	才能10	>
難易度	下級 ☒	中級 ☐	上級 ☐	特級 ☐	特殊 ☐
推奨	PC1 ☐	PC2 ☐	PC3 ☐	PC4 ☐	なし ☒

挿話 開示

桜の救出方法

「儀式」途中で桜を助ければ、桜の身は一旦大丈夫だろう。しかし、根本的な解決は何も出ていない。現代医療ではどうしようもない症状は「奇跡」でも無いと治すことは出来ないだろう。この断片を開示すると、白札「地に刀」を入手することができる。この白札はPC間で自由に受け渡しが可能で、すべての華札の代わりとして扱うことが可能である。一度使用すると、捨て札にはならずゲームから除外される。

シナリオタイトル「絶たれた絆」

断片
ダンペン

サムライブレイドTRPG

挿話

挿話

指定特技	/				
難易度	下級 ☒	中級 ☒	上級 ☒	特級 ☒	特殊 ☒
推奨	PC1 ☒	PC2 ☒	PC3 ☒	PC4 ☒	なし ☒

挿話 開示

挿話